

### 歳末まち美化活動（12/23）

## 川越「歳末まち美化活動」 参加者募集

2018年11月19日

かわごえ環境ネットの年間行事の一環として続けられている川越「歳末まち美化活動」を12月23日(日)祝日に行います。本川越駅前交番横に集合し、市内中心部を各コースに分かれてごみ拾いをして回り、中央公民館前で分別し、蓮馨寺に移動し解散します。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時	12月23日(日)祝日
予定	9:30 本川越駅前交番前に集合 各コースでゴミ拾いをして回る
	11:30 中央公民館で分別作業、蓮馨寺で有志差入れの 太めんやきそばを！ 南行組はウエスタ川越で分別作業と美味しい♡を！
参加申込	12月20日までに 渡辺 FAX 049-242-4322 又は 菊地 080-5546-2362 mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

活動範囲  
概ね点線枠内の主要道路を回ります



12月23日(日)9:30本川越集合で恒例の川越「歳末まち美化活動」を実施します。11:30に蓮馨寺で差し入れの「太麺焼きそば」を食べます。12月20日(木)まで申込。(詳細15面)

### 第17回かわごえ環境フォーラムのテーマは「川越の宝を掘りおこそう」

#### 第17回かわごえ環境フォーラム

## 川越の宝を掘りおこそう と周辺地域

3月3日(日)9:30-16:30にウエスタ川越において開催される「第17回かわごえ環境フォーラム」のテーマは、「川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」に決まりました。

午前の部「環境活動報告会」では、「かわごえ環境活動報告集」を基にして、川越地域における団体・個人の環境活動を発表していただき、参加者同士で情報共有して、今後の取組に生かしていただきます。

午後の部の講演会では、千葉県いすみ市の地域資源を生かす取り組みを伺うとともに、続いて開催される「かわごえカフェ2019」では、川越の隠れた魅力を「宝」として掘りおこすための語り合いを行います。(関連記事15,16面)

### 目次

コラム	川越の自然をたずねて(70)川越でキタミソウ発見.....	2
	「SDGs」を身近な合言葉に！(6)SDGsを生活や事業に生かそう.....	3
報告	かわごえ環境ネットの活動(5題).....	4-9
	会員・地域・流域の活動(5題).....	9-13
	理事会・専門委員会(3題).....	13-15
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事(5題).....	15-17
	会員・関係団体の主催・関連行事(7題).....	18-20
	広報委員会からのおしらせ.....	20-21
	イベントカレンダー(12月9日~2月6日).....	22

【コラム】川越の自然をたずねて (70) 川越でキタミソウ発見



へら状の葉、花と種子



花は2mmほど 小さい



11月24日の観察会

キタミソウという植物をご存じでしょうか。仮に名前は知っていても実物を見たことのある方はとても少ないと思われます。この非常にレアな植物が伊佐沼で発見されました。つい、最近のことです。発見の経緯は、11月11日に埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部の「伊佐沼バードウォッチング」に越谷からの会員が参加され、その方が発見したのです。越谷といえば市民生き物調査の先進地でキタミソウは重要な保護種なので、気づかれたと思われま

す。翌日の12日の午後に、数名の会員とNPO埼玉県絶滅危惧植物種調査団理事長の牧野彰吾氏とで現地に赴き、牧野氏に確認していただきました。このとき、埼玉新聞の記者も同行していましたので、翌日の一面記事に掲載され、一気に“有名”になったと思われま

す。皆さまはご覧になりましたでしょうか？キタミソウは、ゴマノハグサ科の一年草で、北海道の北見地方で発見されたことからこの名前がつけました。特徴として、葉はへら状で長さ2~5cm、花は白色の2~3mmととても小さな植物で、11月から4月の間に2度開花します。国のレッドリストで絶滅危惧II類、埼玉では絶滅危惧IB類(EN)、さらに「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」に指定されている種で、特段の保護を要する種です。

現在、群生地としては、国内では、越谷市を中心とする埼玉県東部(三郷市、さいたま市岩

槻区、行田市旧南河原村)、茨城県の小貝川、北海道、千島列島、そして九州・熊本の江津湖などにしか自生していない、とてもめずらしい貴重な植物です。

キタミソウの分布を世界的に見ると、サハリンなど北方の湿地にだけ生育しています。したがって本来は、温暖な気候の埼玉には生育しないはずですが、なぜでしょうか。それは、たぶん北国から飛んでくる渡り鳥によって運ばれた種が適地を見つけて繁茂したのでしょうか。でもこれは実は、伊佐沼の人為的な水管理と関係が深いのです。

伊佐沼用水は、4月下旬に水が溜められて、水は支流の用水から水田へと流れ、そして、水田に水が要らなくなった10月上旬ごろに水量が落とされ、北のハスのあるエリアは水がなくなり湿地状態になります。キタミソウは、夏は水中で(深さ2~3m以上になる場所に限られているようです。)暑さから守られ、北方の夏と同じ気候条件となる秋に発芽・開花し、真冬にはほとんど枯れてしましますが、春になると再び発芽・開花します。

伊佐沼は農業用水として長く水田を潤してきましたし、魚もいて野鳥のサンクチュアリの機能もあります。さらに全国的にも珍しいキタミソウが人知れずひっそりと生息していたというのはとてもロマンがありますね。一体いつごろこの地に舞い降りてきたのでしょうか。

(賀登環)

## 【コラム】「SDGs」を身近な合言葉に！ (6) SDGs を生活や事業に生かそう



「SDGs」は、原語は「Sustainable Development Goals」、日本語では「持続可能な開発目標」と言われる、2015年9月に国連総会で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」という成果文書に書かれている17の目標と169のターゲットからなるものです。

11月24日に2025年国際博覧会（万博）が大阪で開催されることが決まりましたが、掲げられたテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」で、めざすものが①「国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）が達成される社会」②「日本の国家戦略Society5.0の実現」とされています。

「Society5.0」は、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）」とされています。

SDGsが達成される2030年まであと12年。私たちの生活や事業をSDGsに合わせていくことが求められます。かわごえ環境ネットが川越市とともに作成した「川越市環境行動計画」に書かれている「環境に配慮した行動」や「協働で取り組むプロジェクト」も、SDGsの17の目標である「①貧困をなくそう②飢餓をゼロに③すべての人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現しよう⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに⑧働きがいも経済成長も⑨産業と技術革新の基盤をつくろう⑩人や国の不平等をなくそう⑪住み続けられるまちづくりを⑫つくる責任つかう責任⑬気候変動に具体的な対

策を⑭海の豊かさを守ろう⑮陸の豊かさも守ろう⑯平和と公正をすべての人に⑰パートナーシップで目標を達成しよう」のそれぞれの目標にどう関わってくるのかを意識しながら進めていく必要があります。

たとえば、協働で取り組むプロジェクトの1番目「省エネルギーとエネルギー転換によるストップ地球温暖化」は、消費するエネルギーを少なくすることや再生可能エネルギーを活用することを謳っていますが、私たちの省エネルギー行動が「①貧困」や「②飢餓」に直面する人々へのエネルギーの配分を多くすることに結びつきます。また、再生可能エネルギーの活用が、里山の環境を保全する活動にも結びついて「⑮陸の豊かさも守ろう」につながります。

また、あらゆる生活や事業を、SDGsの17の目標を頭に入れながらすることができれば、必然的にあらゆる環境がよくなるはずで、私たちは衣食住の生活を営みながら、個人や組織でさまざまな活動を行っていますが、SDGsの17の目標につながっているかを見直して、できることはすぐに実行するとよいでしょう。

すでに事業者は、社会的責任の取組をSDGsと結びつけて実施することを始めています。個人や地域でのレベルでも、自らの行動をSDGsに結びつけてみてみましょう。

「SDGs」を身近な合言葉に！の連載は、今回が最終回です。これまでの記事をご覧になっていない方は、インターネットで「月刊かわごえ環境ネット」のバックナンバー2018年7月号（No.141）から2018年11月号（No.145）をご覧ください。（小瀬博之）

## 【報告】かわごえ環境ネットの活動

霞ヶ関西小学校4年生の自然学習 支援報告

自然環境部会



森の探検



切り株の中にスズメバチの巣発見



見つけたものを見せ合う



針葉樹を触ってみる



ニホンアカガエル



クラスの集合写真

この学校は川越市の西の端にあり、周りには南小畔川や雑木林がある自然に恵まれた環境です。6年ほど前、小畔川河南橋の親水ゾーンができたころ、社会環境部会の原嶋氏が中心となり同校4年生の「川の学習」支援を行っていて、現在も続いています。

このようなとき、担当の先生から、森の学習も支援してほしい、という依頼があり、要請を受けることにしました。先生の話ですと、自然に恵まれていても実際にその中に入り込む子どもはあまりいなくて、生き物に対しても抵抗感が強いとのこと。

この地区にはまだまだ雑木林が残っていますが、次第に宅地に変わりつつあります。その中で個人所有の6haの雑木林がボランティア団体「NPO 埼玉森林サポータークラブ」により手入れされています。地主の承諾と当該団体の協力を得て、自然学習を始めることになりました。これが一昨年の10月のことで、今年3年目になり、11月2日（金）に実施しました。

当日は天気もよく、青空がまぶしいほどで、

4年生3クラス、100人あまりが15分ほどの道を元気に歩いて到着しました。この雑木林の手入れはできるだけ、在来の種を残す方法なので、ムラサキシキブやマンリョウなど実を付けた低木や下草が見られます。高木層もコナラ、クヌギ、アカマツ、ヒノキと豊富です。

子どもたちの生き物を見つける眼力には驚くばかりで、我々が下見をしたときは乏しい印象でしたが、朽ち木の下の虫や草むらの虫などけっこうみつけました。マクラギムカデ、カナヘビ、ヤスデ、ゲジゲジなど地面にかくれています。なんと、ニホンアカガエルも見つけました。水場のない雑木林でどうやって生きているのか不思議です。ここにはヘビもいますので案外、ひっそりと生態系ができていられるのかもしれない。落ち葉をめくっていくとだんだん土になっていく様子もわかったようです。

滞在時間の1時間は夢中で過ぎてしまいました。お土産にコナラ、ヒノキの玉切りをプレゼントしましたので、教室で木の香りや年輪を数えて楽しんでくれることでしょう。（賀登環）

## 高階北小学校3年生「森の自然学習」支援報告

自然環境部会



ほら、土の中の昆虫



ただいまキノコ採集中



あれがヤマザクラの木だ



集めたもの、みせっこ



土の中の虫をさがそう



カナヘビにタッチ

日時：2018年11月7日（水）9:30-11:30

場所：「(仮称)川越市森林公園」計画地

高階北小学校3年生の「森の自然学習」は2011年から始まりましたので、今年で8年目になります。今年は異常続きの夏で、ドングリも不作でした。9月、10月に次々と大きな台風がきて、雑木林の樹木も倒れたり枝がぶら下がったりだいぶ被害がありました。11月に入るとやっと秋らしい気候になり、当日は穏やかな日よりでした。朝9時過ぎには元気な子どもたちの声が川越南文化会館に響いてきました。高階北小学校から歩くこと30分、3クラス100人余りが到着です。挨拶の後、雑木林に入っていきます。初夏（6月初め）にも来ているので季節の変化も感じ取ることができるでしょう。黄葉は三分程度でまだ緑の葉もあり、学習には好都合です。今回の学習テーマは「秋の自然をさがそう」です。

「森のさんぽ道」を移動する途中にも秋はたくさん見つけられます。ガマズミ、ムラサキシキブも実をつけていて、「ムラサキシキブは源氏物語のですか？」という発言もありこちらがビックリ。「第2武蔵野ふれあいの森」の奥あたりでクラス毎に場所を決めて活動開始です。落ち葉を

集めるネイチャーゲームをしたクラスもありました。いろんな落ち葉を集めてどこから来たんだろう？「あ、あそこ！」とヤマザクラの木を確認。アカマツ、シラカシと樹木につながりません。葉が緑から黄、赤、茶色と次第に変化するのでも確かめました。キノコもまだまだ見つかります。人気はホコリタケ、またの名をキツネノチャブクロ。叩くとケムリ・・・胞子がでで大喜び。

カナヘビも人気者でした。大きいのも小さい子どもも何匹もみつけられました。活動の最後に落葉溜めのあるところで、枯葉が次第にポロポロになり、ついには形がなくなっていく、こうして土になっていく、これはミミズなどの働きだね、と分解者の学習です。だんだん掘っていくと、出ました、カブトムシの幼虫！ここで「オオーッ！」と歓声があがります。みんなが順々に手のひらにのせて見つめます。この日はリンドウがきれいに空に向かって花を開いて、ジョロウグモ、クビキリギス、ツチバタ、シマミミズなどたくさんの生き物にであいました。

「ここに遊園地もあるといいのに」「うーん、ここは生き物がたくさんいるから無理ね」「そう

か、ここは虫のゆうえんちなんだ！」子どもとスタッフのほのぼのの会話。今回も自然を堪能してもらったようです。

環境ネットからは横山、青野、森田、山田、関口、大澤、沖本、池田、内田、松永、賀登勉、賀登環の12名が対応しました。(賀登環)

## 社会環境部会で「市内北東部を視察」川越は広いなと実感(11月13日(火))



裏門横から菅間緑地の中を



入口の案内板には鉄さびが



PFI でできた給食センターのPRコーナー



「まるごと再生」で遊歩道はできたが、社会環境部会の今年度の環境施設見学会は、市外の視察をやめて、市内の見学にしました。新しいハザードマップもできましたので、これらの説明も兼ねながら、11月13日の火曜日に広い川越の北東部を回りました。

午前9時に市役所裏の駐車場から、小型バスで12人の参加で出発しました。まず、川越市の環境啓発施設の草分けとして、「自然観察のサンクチュアリ」として35年前につくられた菅間緑地を観察しました。飛来する野鳥をのぞき窓から見て新鮮な驚きをもって観察したものでした。今回、池にも林の中にも鳥のさえずりが聞かれませんでした。池から流れる周りの水路も、落ち葉だらけで手入れされていない状況でした。現在は民間に管理が委託されていますが、関心ある市民の関与が必要と痛感しました。

次いで、近くの菅間給食センターに行きました。道路を挟んで、10年前にできた市直営の給食センターと、今年度から稼働したPFI方式でできた新しい給食センターがありました。この



大事に手入れされている並木のクス



久下戸の氷川神社内にある洪水記念碑

きれいな新しいセンターを見学しました。2階のPRコーナーの展示コースとともに、1階の調理作業が上から見られるようになっていました。安全と衛生の観点から、調理の熱源は蒸気でした。時々上がる白い蒸気の中、大釜の中に入れられた食材を、大きなプラスチック製の板で掻き回す様子はたいへんな作業と感じ入りました。アレルギー対策などの細かい作業も見られました。

次いで、川越運動公園前の「川の国埼玉はつらつプロジェクト(農業用水)」の現場を見ました。前の「川のまるごと再生プロジェクト」で側道はできましたが、川の中や側道脇は草ぼうぼう、とても観光気分の散策できる状態ではありませんでした。今年の工事現場を求めて上流の工場と倉庫の団地の近くを通り、工事開始を見届けました。

昼食は伊佐沼横のうどんをいただき、伊佐沼を観察しました。木道の先の湿地帯に、希少植物のキタミソウが発見されて話題になりました

が、その時はわからず残念でした。

次いで南古谷の「並木のクス」を見学、堂々とした木の姿に感激し、記念写真を撮りました。次いで久下戸の氷川神社内における寛永の大洪水を記録した石碑、寺尾調節池、旭橋たもとの

新河岸の舟運跡、仙波河岸史跡公園と、水と緑の現状を視察、午後4時に市役所裏に戻り解散しました。

(武田侃蔵)

親子連れでにぎわった「つばさ館まつり 2018」エコドライブで協力 社会環境部会



中学生の優秀ポスター展示



すばらしい小学生の優秀作も



自転車を動かして発電に挑戦



親が付き添ってエコドライブの経験



大学生の環境アイデア発表



ごみ分別クイズに親子で挑戦

環境プラザとして、ごみの分別やリサイクルのPR施設として市民に親しまれている「つばさ館」は、夏休みの7月に行われる「エコプロダクツ」と11月に行われる「つばさ館まつり」が恒例の行事として定着し、11月18日(日)の今年のまつりも、朝早くから行列ができていました。

1階はリサイクルを中心にいろんなコーナーが設けられましたが、「蔵出しリユース品大市(雑貨・衣類・小型家具)」は人気が高く、長い列を区切ってタイム制で参加してもらうなど盛況でした。1階から3階までと館外を合わせ10か所のスタンプラリーを設け、石鹸作りからおもちゃの病院、雑紙は資源と分別、フードドライブ、館外で消防車両とパトカーの展示、最後はごみ収集車の展示と収集体験など、幅広い環境への体験を得られる工夫がなされていました。

2階の通路横には中学生と小学生の環境ポス

ターの優秀作品が展示され、3階にも3Rの入選ポスターが展示され、作品を前に親子連れで環境への思いを話し合う姿が見られました。

3階の研修室では大学生の「環境アイデアコンペ2018in つばさ館」のプレゼンテーションが行われ、最優秀賞に日本大学の富山さんの「埼玉県の伝統工芸が可能にする観光地のプラスチック削減と環境改善」が選ばれ、ついで東洋大学の居石さん、和田さんの「食べ切り協力店制度活性化の提案」と東洋大学の山口さん、木村さんの「雑がみ分別の促進」が選ばれました。プラスチックや食品ロスなど、今の話題の環境問題へのアプローチに、参加者の共感を得ました。

かわごえ環境ネットの社会環境部会では、2階の環境政策課が設けた「エコドライブシミュレーター」と「自転車発電」体験コーナーで、会員がスタッフとして応援しました。エコドラ

イブは、親子連れでの参加も多く見られました。親がハンドルを子供と一緒ににぎり、ブレーキを踏みながら、子どもに画面の状況を説明し、エコドライブのコツを教えるほほえましい姿がありました。

また隣では、自転車の車輪をこぎながら電気をおこし、ランプが点灯する装置に親子で挑戦

していました。力を入れて早く回さないとランプがつかず、エネルギー転換の難しさを体験したコーナーでした。その他、地元の農産物の直売もあり、幅広い環境問題と防災や安全への意識啓発で盛り上がった一日でした。

(武田侃蔵)

## 環境講演会 2018「危険が潜む家庭の殺虫剤、消臭剤、洗剤等」報告

社会環境部会



講師の星野弘志氏



クイズで参加者を惹きつけて...



イラストを交えながらの解説

11月24日(土)に社会環境部会主催の環境講演会を南公民館(ウエスタ川越内)にて開催し、47名の参加者がありました。

ここ数年「地球温暖化問題」や「自然エネルギー」等、上映会も含め比較的広い視点での環境課題を講演内容として取り上げてきましたが、今回は、身近な問題でもある「家庭にある化学製品の安全使用」について「危険が潜む家庭の殺虫剤、消臭剤、洗剤等」と題する講演を埼玉環境カウンセラー協会副会長(埼玉県環境検査研究協会代表理事)の星野弘志氏にお願いしました。

埼玉環境カウンセラー協会では、家庭で安全に化学物質を使用するための情報提供を目的として「家にある化学物質の使い方シリーズ」を数年前から作成してきており、これまでに、第1号「漂白剤」、第2号「衣類の防虫剤」、第3号「スプレー缶」、第4号「芳香剤」、第5号「浴室で使う化学製品」、第6号「消臭剤」、第7号「虫よけ剤」、第8号「総集編」を発行してきました。これらの安全使用読本を通して「利便性とリスク・危険」、「安全と安心」等の問題に対して、我々がどの様に考え、対応したらよいかを示唆しており、大変勉強になります。特に

乳幼児・子供や高齢者には、間違った使い方や不適切な取り扱いをして危害や健康への影響が出る場合が散見されますので、重要な環境テーマと云えるでしょう。

星野講師による講演内容としては、①「化学製品、化学物質について考える」、②「リスクについて考える」、③「家庭における化学製品による事故」、④「安全使用のために注意すべきこと」等をわかりやすく説明され、特にリスク(危険度合)に対する見方や安全と安心の違いの解説は、日常生活上でもたいへん参考になる考え方だと思いました。また、スプレー缶等の危険性については、動画も交えた説明があり、火器近くでの使用の危険性やアルミ缶での移し替えて、爆発事故に至るまでの危険が潜んでいたのかと改めて認識させられました。

休憩後の質疑応答では、できるだけ多くの質問に答えるとの観点から、あらかじめ質問用紙を配布・回収して講師に回答をお願いしました。質問としては、「香害に対する人体の影響」、「残留農薬(含輸入品)の問題」、「サプリメントの安全性」、「プラスチック容器からの溶出の影響」等が出され、講師からていねいな回答がありました。また、会場から「プラスチック容器での

電子レンジによる加熱やジップ付きプラ袋での調理・保存による添加剤等の溶出懸念」や「ネオニコチノイド農薬の影響」等の具体的な質問もあり、充実した質疑応答が行われました。

現在、世界的にもマイクロプラスチックの環境問題が取り上げられていますが、プラスチックの大量消費社会の中で、我々としてもできるだけむだな包装容器は使わないこと、きちっとした分別回収を実行することが大事であると認識を新たにしました。

回収したアンケートでは、33名(回答率70%)の方から回答をいただきましたが、約半数が女

性であり、今回のテーマに対する関心の高さをうかがわせる結果となりました。本講演に関して「テーマに興味があり、内容も良く理解できた」と回答した方が30名(91%)であり、主催者側としては、安堵したところです。また、次期講演テーマとしては、「地球温暖化対策」、「自然環境保護」への関心が最も多く、次に「ごみ問題・減量」と答えた方が多くありました。来期講演会の参考にしたいと思います。

今回の講演会の開催関係者そして足を運んでいただいた参加者に感謝いたします。

(宮崎誠)

## 【報告】 会員・地域・流域の活動

### 「かすみがせき 100円商店街」と「クラウドファンディングで拓がる地域の未来」

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ



賑わうかわごえ里山ブース



トークセッション



都会からの援農助っ人

10月27日(土)に「かすみがせき昭和レトロすとりーと」霞ヶ関の街・商店街を元気にしよう!!というふれこみで、第1回「かすみがせき100円商店街」が開催されました。かわごえ里山は、無農薬米や会員栽培の無農薬野菜、昔ながらの足ふみ脱穀体験で参加しました。お米や野菜は午前中に完売、足ふみ脱穀体験は、地元の高齢者の懐かしい思い出話でにぎわいました。無農薬や食と健康に関心を寄せる地元の方が多いことを認識させられました。

11月11日(日)はウエスタ川越 南公民館で開催された川越市主催の「クラウドファンディングで拓がる地域の未来」第二部トークセッションにパネリストとして参加しました。

併せて、新米のCO江戸かわごえ耕福米とマ

コモタケの炊き込みご飯を試食で提供しました。

11月はマコモタケの最盛期に入り、マコモの葉やマコモタケを求めて、遠く東京や横浜の都会から多くの援農の助っ人や訪問者がありました。印象的なのはみな異口同音に私たちの田んぼに「波動を感じる」、「癒される」という言葉でした。訪問者のリピーターが増え、地元の人も交えてCO江戸かわごえ初雁の里の田んぼが毎日にぎわいました。

環境にやさしいお米作りが、人と人、人と生きものを結び付け、地域づくりに貢献しています。設立当時のコンセプトであった環境豊かな田んぼのお米作りだけではない価値の創造が形になってきました。

(増田純一)

里山体験と木工教室（第9回こもれび祭）東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊）



キャンパス内の森林資源を選ぶ



木工教室の様子



松ぼっくりのクリスマスツリー



森のツアーと樹名板掛け



かながけ体験



まきわり体験

11月3日（土）・4日（日）10:00-16:00に東洋大学川越キャンパス学園祭第9回「こもれび祭」において、恒例の「里山体験と木工教室」を出展しました。

各日10名のスタッフが「森のツアー」（樹名板掛け）、「まきわり体験」「かながけ体験」「こもれびの森で捕れた」「スズメバチの標本展示」などに分かれて対応しました。

天気がよかったこともあり、会場は大いににぎわいました。ご来場ありがとうございました。

アンケートを実施して、2日間で約200名の方に回答いただきました。年代は40代の方と小学生以下が多く、親子で来場された方が多かったです。性別は女性が6割弱と多めでした。イベントの特性から通りがかりの方が多かったのですが、毎年楽しみにしてきてくれる方もいるようです。

今年は、コナラのドングリがほとんど取れない状況でしたが、キャンパス内には多くのアカマツがあり、特に形のよい松ぼっくりが採れる木があるので、クリスマスツリー仕立ての作品を作る人が多くいました。その他、工作ではボードコールや表札が好評でした。

まきわりは、コナラは割れにくいので、多く

の人はヒノキでチャレンジしてもらいましたが、割れたときの爽快感は格別のような感じでした。

かながけも、年齢を問わず初めてという人が多かったのですが、ヒノキの削れたときの香りのよさと、削りくずを持ち帰れることからとても好評でした。

樹名板は、今年も18枚を用意して、通学路となっている「こもれびの道」沿いのヒノキとコナラに、裏側に自分の名前を書いて、ひもで結んで掛けてもらいました。

川越キャンパスにいととても身近な森ですが、日ごろあまり接する機会がないと思います。こういう機会を持って、森林に親しみを感ぜてもらえれば、SDGs（持続可能な開発目標）の「⑩陸の豊かさを守ろう」や「⑰パートナーシップで目標を達成しよう」も推進されると思います。2015年に始まった自然再生プロジェクトも、徐々に自然豊かな姿になってきていますし、既存の森林も活用を考えていく必要があります。みなさまとさまざまなコミュニケーションを持ちたいところです。

「里山体験と木工教室」は、毎年夏休みと大学祭において開催を継続していく予定です。次の機会にぜひご参加ください。（小瀬博之）

18回目の「北公民館かんきょう祭り」新しい企画で11月10日に開催



クイズのDVD鑑賞

北公民館かんきょう祭りは、18回目を迎えました。今年は、「もったいない」を合言葉に、参加者と触れ合うコーナーを第一に企画しました。

川越市環境部関係で環境政策課、資源循環推進課、かわごえ環境ネットが参加、環境政策課は川越市環境行動計画チェックシートの記載を22名の方から受け、資源循環推進課は「雑紙釣りゲーム」で啓発を行いました。

かわごえ環境ネットでは社会環境部会の会員で「環境ビデオ紹介と環境クイズ」を行いました。2階の第3会議室で、スクリーン、プロジェクターは北公民館から借用、DVDによる「知ろう！地球にやさしいエネルギー」で、クイズを始める前の基本の知識として、地球温暖化対策の活動状況を、21分ほど勉強しました。

全国に普及している太陽光発電、山の中や海上等に作られている風力発電、山間部の谷川に

設けられている小水力発電、火山地帯の地熱発電等、地域別の活動等のわかりやすい説明で、全国的な取り組み状況がよくわかりました。

◎環境ビデオを見てのクイズ

クイズは、各分野は5部門に分かれており、①森林保全、②地球温暖化、③大気・水環境、④循環型社会、⑤野生動物となっております、各分野ごとに6問あり、午前の部で3問、午後の部で3問となっています。

答えは3択方式で、3つの答えから一つの正解を選ぶようになっています。

例) 森林保全の第1問

熱帯林が破壊されている原因のひとつとしてあげられるものはなんですか？

1. オゾン層破壊による紫外線の増加
2. 商業目的の過剰な伐採
3. 異常気象による樹木の枯れ

正解は2.商業目的の過剰な伐採で、生物種の約40%が棲息しているといわれる熱帯林が、無秩序な森林の商業伐採や過放牧などで消失。

参加者は午前、午後併せて25名で、そのうち女性が22名、男性が3名でした。合計15問のうち10問以上正解の方には、LED電球など、正解の数に応じた商品を渡して喜ばれました。

下の写真のようにもったいないコーナーや太陽光クッキーなどでにぎわったかんきょう祭りでした。  
(原嶋昇治・宮崎誠)



クイズ出題の説明



もったいないコーナー



太陽光クッキー

川の景観づくり・湧水保全・森の保護と活躍する和光市の市民団体と 10月31日に



湧水の流れを活かしたビオトープ



川のクリーン活動参加の呼びかけ



住民の反対で川の再生が見送られた



住民の意見を生かした芝生広場



道路拡幅での伐採をやめた緑の側道



市民団体が手入れするふれあいの森

かわごえ環境ネットも参加している「新河岸川広域景観づくり連絡会」主催の、川と緑の景観を学ぶイベントが、「和光自然環境を守る会」が幹事となり、他の市民団体との協力で企画され、10月31日（水）に行われました。

川越市、ふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市に地元和光市の人ら30人を超す参加者で、和光市駅に集合、2班に分かれて越戸川の川べりから見て歩きました。住宅地の横をめぐり、コンクリートの側壁の底を流れる川は、豊富な湧水のおかげでさわやかな緑濃い水藻も見られました。

写真のように、湧水をただ川に流すのではなくビオトープ風に一工夫した光景は、市民の水への愛情を感じさせられました。

川の中を清掃するために、県土事務所に頼んで側壁を降りられるような足場を取り付けてもらったところが何か所ありました。さらに、川の清掃活動への参加を呼び掛ける大きな看板がありました。川越でも、赤間川やオアシス横の新赤間川でも、川に降りてごみ拾いをできる足場がありません。また、川の清掃活動への参加を呼び掛ける大きな看板が欲しいところです。

「新河岸川を守る会」の積極的な対応が望まれます。

途中の水久保公園は、崖地の樹木を生かした散策路をめぐらし、小ぶりながらアイデアいっぱいの公園でした。川越でも工夫すれば、河畔林を生かしたところがあると思いました。

水辺再生の候補に挙がりながら、住民との合意が得られず、鉄の矢板で側壁を作り、丸い鉄棒で支えたところがまだありました。しかし、その横に芝生の広場があり、バーベキューも楽しめるような憩いの場ができていました。その斜面上の道路は、並木を活かした側道になり、景観上も市民の知恵を感じました。

近くの上谷津ふれあいの森を見て、越戸川と谷中川との合流点にできたふれあいゾーンに立ちました。ここから下流にわたって、赤池ふれあいゾーンとして、子供らの川遊びの体験ができるように整備され、今年も10月6日に18回目の大会を開き、にぎわいました。

次いで新倉ふれあいの森を見学しました。入口の横から湧水が流れ、木道を上った先には、手入れされた竹林がさわやかな風を送ってくれました。近くの新倉北部地域センターで活動の報告を聞き、感想を交換しました。(武田侃蔵)

**環境関係の講演会・11月10日浦和でSDGs・11月17日和光市で森のトラストについて**

①埼玉環境カウンセラー協会主催のSDGsに関する講演会が11月10日(土)13:30~16:30に、さいたま市浦和区の埼玉会館4階4A会議室で開催されました。最初は「SDGsとは」と題し、SDGsの実施に向けたパートナーシップのあり方検討委員の京都大学名誉教授松下和夫氏から、今までの国の取り組みについて解説がありました。次いで「SDGs企業の取り組み」と題して、積水ハウス株式会社CSR部長の小谷美樹氏が、最後に「SDGs自治体の取り組み」と題して埼玉県環境部環境政策課主幹の前田雄一氏から、埼玉県の環境政策の諸施策との関連など、広い見地からの提言がありました。SDGsの理念を具体的な施策と市民への行動につなげる、各方面の工夫が期待されます。

②11月17日(土)13:40~16:30に、和光市中央公民館で、公益財団法人トトロのふるさと基金専務理事の荻野豊氏が「地域の宝を知り、活かし、伝え残していくために~考えよう和光のトラスト~」と題した講演がありました。所沢市の郊外の森が墓地になる危険を阻止した運動から始まり、40を超すトラストができた経緯を紹介、始めから一貫して運動をリードしてきた荻野氏の話に感銘を受けました。湧水を活かしたNPO法人和光・緑と湧水の会と和光市環境づくり市民会議の共催で、市の環境課と教育委員会の職員もそれぞれの立場から、自然の保護と子どもらへの教育の現状を報告しました。行政とのパートナーシップを組んだ会の進行に、和光市の先進的な姿勢を垣間見ました。(武田侃蔵)

**【報告】理事会・専門委員会****理事会・事業運営委員会**

11月21日(水)9:00-10:00に第7回事業運営委員会を、同10:00-12:09に第8回理事会を、川越市役所前の福田ビル3会議室において開催しました。議題が重複するため、一括して主要な議事内容を報告します。

3月3日(土)にウエスタ川越において開催する第17回かわごえ環境フォーラムについて、環境活動報告集の応募者が12件、そのうち午前の部の発表会への参加が11件あるとの報告がありました。この状況を見て、投稿・発表申込期限を12月17日(月)まで延長することにしました。また、午後の部の講演会の講師派遣を依頼しているいすみ市への訪問を理事4名で実施することを決定しました。テーマを「川越(地域)の宝を掘りおこそう」として、午後の部の講演会、かわごえカフェ2019を実施することにしました。事業運営委員会では、終了後に懇親会を開催することにしました。

10月20日(土)・21日(日)に実施した川越まつり会場クリーン活動の参加者が2日間で延

べ208名あり、そのうち飛び入り参加が約50名あったことが報告されました。長い竹串の収集についてのトラブルや今後の対策について、また、参加証明書の交付希望に対応したことや次年度以降は全員に交付することを確認しました。

歳末まち美化活動の準備状況について説明がありました。川越まつり会場クリーン活動において理事等に協力いただいたカンパの残金を、歳末まち美化活動に流用することについて了承しました。

各専門委員会に次年度の事業計画の作成を依頼しました。

11月より募集を始めたメールサービスについて、現状では応募者がいません。まず、広報委員会のメーリングリストのメンバー、理事及び事務局を対象に試行することにしました。

2020年に迎える設立20周年に向けて、記念事業について検討しました。

事業運営委員会では、新年会を1月16日(水)の理事会終了後の昼食時間に計画することにし

ました。具体的な要項は予告をご覧ください。

川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動チェックシート」は、11月10日の北公民館か

んきょう祭りにおいて22名に実施し、今年度はこれまでに延べ290名に対して実施したことを確認しました。  
(小瀬博之)

## 社会環境部会

11月例会は11月9日(金)に、岡田ビル3階の会議室で13:00から9名の出席のもと、代表司会で開かれました。理事会などの報告が代表からあり、事務局から7月22日に開催された「エコプロダクツ川越2018」で実施した「環境に配慮したチェックシート」の集計結果の解説がありました。ついで10月の部会後の川越まつり会場クリーン活動についての報告がありました。

川越まつり会場クリーン活動について、SNS等でのPRが浸透し、市内のパイオニア(株)や武州ガス(株)などの団体参加のほか、所沢市の中学生6人の飛び入り参加など、幅広い市民の協力で、2日間で200人を超す参加者があったことや、捨てられるごみの中に「長い竹串」が多くて負傷者があったことなど、問題点も報告されました。プラスチックの大型ごみ、飲んだ後の容器に氷が入ったままで捨てられるなど、ごみ処理に大きな負担がかかる状況が報告されました。きれいで安全な川越まつりのために、来年度は事前の調整が求められるようです。

次いで、翌日の北公民館かんきょう祭りなどの諸事業の準備が報告されました。

①11月10日の北公民館かんきょう祭りには、社会環境部会として地球温暖化対策へのクイズを企画、参加者への賞品として27個の品を用意、4,752円の支出を承認しました。

②11月13日の「市内環境等の視察」のコースなどを確認、昼食は伊佐沼近くの農産物直売所の伊佐沼庵でとるコースにしました。9:00に市役所裏の駐車場に集合、最初に菅間緑地を視察、

10:00から作業が始まる新しくできたPFI方式の菅間の給食センターを視察、「川の国埼玉はつらつプロジェクト」の農業用水路整備状況、並木の大クス、寛保洪水記念碑のある久下戸の冰川神社、寺尾調節池、新河岸川河岸場跡などを回り16:30市役所裏で解散のコースを確認しました。

③11月18日の「つばさ館まつり2018」会場での、エコドライブ講習への協力体制について、井口、渡辺の経験者が今年も参加することにしました。

④11月24日の「環境講演会：危険が潜む家庭の殺虫剤、消臭剤、洗剤等」の準備状況について協議しました。案内ちらしの配布とともに、川越市女性団体連絡協議会等にも協力をお願いしましたが、会員の協力による参加者集めが要請されました。また、当日の機材の準備等、事務局の協力をお願いしました。

⑤会員の松岡壽賀子さんから、来年の1月から使える「環境家計簿」を、12月の月刊紙の配布の際に同封したいとの提案を了承しました。公民館での普及活動の成果を取り入れたアイデアも盛り込まれています。

⑥社会環境部会活性化への方向について、事務局からも検討の参考資料が配られました。新たな人材が参加しやすい企画や年間スケジュール案などが試案として配られ、今後検討することが提案されました。

次回の例会は12月14日(金)13時より岡田ビル3階で。

(社会環境部会代表 武田侃蔵)

## 自然環境部会

11月例会は、9日(金)福田ビル3階にて6名の参加で開催されました。

## 1. 活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動  
11月12日(月) 第2ふれあいの森保全活動
- ②池辺公園 定例活動 11月6日(火) 雨だったので定例活動中止。ごみ拾いだけした。
- ③霞ヶ関西小学校4年生の自然学習支援 11月2日(金) NPO 埼玉森林サポータークラブとの共催 笠幡地区の個人所有平地林にて実施 別ページ参照
- ④高階北小学校3年生 自然学習支援 11月7日(水) 「(仮称)川越市森林公園」計画地 本会から12名が支援、空気のいい森で楽しい

体験活動ができた。 別ページ参照

- ⑤「古谷湿地魚観察会」11月3日(土) 市主催行事 本会から3名協力 天気もよく魚も採られて充実した観察会になった。

## 2. 協議事項

- ①かわごえ環境フォーラム報告集の原稿について 自然環境部会としては調査活動や寄贈された昆虫標本リストなどを予定。
- ②かわごえ環境ネット設立20周年事業について
- ③コラム「川越の自然を訪ねて」原稿確認など (自然環境部会代表 賀登環)

## 【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

### 【トピック①】歳末まち美化活動参加者募集 (12月23日9:30本川越駅交番前集合)

2003年から始まった中心市街地の歳末まち美化活動。16年目の今年も例年と同様に天皇誕生日である12月23日(日・祝)9:30-12:00に実施します。平成最後の活動です。

9:30に本川越駅交番前に集合し、市内中心部から南北に10ぐらいのコースに分れ、ポイ捨てごみ拾いをして回り、11:30に北行組は中央公民館前でごみ分別、その後蓮馨寺にて有志差入れの川越名物「太麺焼きそば」を食べながら

歓談します。南行組はウエスタ川越でごみ分別し、施設内のカフェ&ベーカリー「どんなときも」でおいしいパンを食べて解散します。

申込先：渡辺利衛 Fax.049-242-4322

菊地三生 Tel.080-5546-2362,

E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

準備の都合上、12月20日(木)までに申し込みください。本会会員の有無を問わず、多くの方のご参加をお待ちしております。

### 【トピック②】「第17回かわごえ環境フォーラム」3月3日(日)ウエスタ川越で開催

第17回かわごえ環境フォーラムを2018年3月3日(日)9:30-16:30にウエスタ川越(市民活動・生涯学習施設 会議室1・2)を会場として開催します。午前の部(9:30-12:00)の環境活動報告会と午後の部(13:00-16:30)講演会並びに対話の場「かわごえカフェ2019」を予定しています。詳細は、かわごえ環境フォーラムホームページ(<https://forum.kawagoekankyo.net>)をご覧ください。



かわごえ環境フォーラム

- ①全体テーマは「川越の宝を掘りおこそう」

#### 第17回かわごえ環境フォーラム

**川越の宝を掘りおこそう**  
と周辺地域

川越には蔵造りの町並みを中心として多くの観光客を集める魅力的な地域資源がありますが、川越市及び周辺地域には、あまり知られていない隠れた魅力がたくさんあります。こんな「川越(と周辺地域)の宝」を掘りおこしてみんな

で情報共有し、今後の川越のまちづくりに生かしていこうというのが今回のテーマの趣旨です。

午後の部(13:00-16:30)では、地域の宝を生かしてまちづくりをしているいすみ市の事例に学び、続いて実施する「かわごえカフェ 2019」では、「川越(と周辺地域)の宝」を、喫茶を楽しみながら参加者同士で語り合います。詳細は本紙1月号並びに本会ホームページで順次お伝えします。

## ②環境活動報告の原稿投稿・発表申込期限を12月17日まで延長

開催に先立ち、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。かわごえ環境ネット会員の有無を問いません。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限を延長し、レポート投稿

期限と同じ12月17日(月)としました。ぜひご応募ください。

## ③協賛のお願い(12月17日まで)

本会や会員の本年度の環境活動報告をまとめた「かわごえ環境活動報告集」を「第17回かわごえ環境フォーラム」開催に合わせて発行します。本報告集は毎回、費用の一部を本会会員の協賛金でまかなっております。ご協賛をぜひお願いいたします。ご協賛いただいた企業・団体は、環境活動報告集に協賛広告を、また、案内ちらしに協賛者の名前を掲載いたします。

会員外の事業者等からも協賛を募集しています。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局(川越市環境部環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866、E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp)までお問い合わせください。

## 【トピック③】みんなで集まって暖かさを共有する「ウォームシェア」の実施

### ①ウォームシェア@北公民館(12/8-1/23)



日時: 12月8日(土)～1月23日(水) 10:00-17:00(ただし、祝日・国民の休日、館内整理日(12月28日)、年末年始(12月29日から1月3日)は閉館)

場所: 川越市北公民館(川越市氷川町107)のホワイエ、ロビー(フリースペースの開放なのでお金はかかりません)

みんなで集まって暖かさを共有することで地域のエネルギー利用を少なくする「ウォームシェア」を実施します。北公民館で暖を取りながら楽しいお話や趣味に花を咲かせてください。

かわごえ環境ネット社会環境部会との共催で早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科納富

研究室が実施します。期間中の数日間、同研究室によるアンケートを実施しますのでご協力ください。

### ②かすみ草&早大納富研コラボ企画“生きがいウォームシェア”の実施(12/1-1/24)

期間: 12月1日(土)～1月24日(木)(ただし、年内は12月20日(木)まで、来年1月8日(火)より営業)

曜日・時間: 毎週火・水・木曜日 10:00-16:00

場所: コミュニティサロンかすみ草(川越市霞ヶ関東2-12-17, Tel.049-231-0372)

利用料: 中学生以上100円、小学生50円、未就学児無料(ドリンク1杯サービス)

この冬(12月～1月)、『コミュニティサロンかすみ草』にて、「生きがいウォームシェア」を行います。

「生きがいウォームシェア」とは、人が『かすみ草』に集まって暖かさを共有(シェア)することで、地域での省エネに貢献する(ウォームシェア)と、集まった方々でおしゃべりや、折り紙、編み物などを楽しみながら、生きがい

も向上させよう！という企画です。

イベント会場である『かすみ草』は、「地域の人が作り、地域の人が気軽に集える拠点」として本年4月にオープンしました。オープンのきっかけは、医療法人健友会の歯科医院だった場所を「地域の拠点として活用したい」という声でした。現在も、自治会長さんや民生委員さん、地域のボランティアさんの協力の下、毎週火・水・木曜日にオープンしています。

この企画は、早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科納富研究室との共同開催です。納富研究室のメンバーが『かすみ草』でアンケート・ヒアリング調査などをさせて頂き、『かすみ草』がどのくらい地域での省エネに貢献したか、皆様が『かすみ草』でどのように過ごされ気分が

変化したのかを明らかにします。また、期間中にこのアンケートにお答えいただいた方に簡単なお礼を用意しております。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

#### 【予定しているアンケート内容】

- ・利用時間、利用回数、活動内容など
- ・“ウォームシェア”の認知度について
- ・利用前後での気分変化など（かすみ草のみ）

#### 【アンケート調査問い合わせ先】

実施責任者：早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 納富信（のうとみまこと）Tel.0495-24-5938、担当者：納富研究室 修士課程2年 柳内洋子（やないようこ）E-mail: yanai-yoko@suou.waseda.jp

### 自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第2・第4月曜日）  
日時：12月10日・1月14・28日（月）9:30-12:30（12月24日は実施せず）  
集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今

福1295-2）  
問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）  
★池辺公園定例活動（毎月第1火曜日）  
日時：2月5日（火）9:00-12:00（1月は休止）  
場所：池辺公園（川越市池辺1302）

### 会合

#### ●社会環境部会（2018年12月度）

日時：12月14日（金）13:00-15:00  
場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）  
\*次回は1月11日（金）13:00-15:00 同所  
\*会員はどなたでも参加できます。

#### ●自然環境部会（2018年12月度）

日時：12月14日（金）15:00-17:00  
場所：福田ビル3階会議室  
\*次回は1月11日（金）15:00-17:00 同所  
\*会員はどなたでも参加できます。

#### ◆事業運営委員会（2018年度第8回）

日時：12月19日（水）9:00-10:00  
場所：福田ビル3階会議室  
\*次回は1月16日（水）9:00-10:00 同所

#### ◆理事会（2018年度第9回）

日時：11月21日（水）10:00-12:00  
場所：福田ビル3階会議室  
\*次回は1月16日（水）10:00-12:00 同所

#### ◆広報委員会（2018年1月度）

日時：1月9日（水）9:00-10:00  
場所：川越市役所本庁舎5階フリースペース（川越市元町1-3-1）

#### ●新年会（ちょっとぜいたくなランチ）

日時：1月16日（水）13:00-14:30 ごろ  
場所：Te'PAN Le OMUS（テッパン ル オムス）  
（川越市幸町8-11 明文館201）

<https://nobeer-nolife.com>

会費：4,000円（税込、飲食込み）  
定員：8名以内（事務局に1月9日まで連絡を）

**【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事**

**川越市 環境部 環境政策課**

問い合わせ (Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp)

◎「かわごえの環境 (第2号)」の発行

第三次川越市環境基本計画及び川越市緑の基本計画 (平成28年3月改定版) の進捗状況をまとめた年次報告書「かわごえの環境 (第2号)」を発行しました。

12月3日(月)から環境政策課(本庁舎5階)、市民センター、公民館及び川越市公式ホームページで閲覧できますのでぜひご覧ください。

また、同報告書に対するご意見・ご提案を12月26日(水)まで同課で受け付けます(ファクス可)。

なお、前年までは、本会会員に対して月刊かわごえ環境ネット郵送時に報告書を同封しておりましたが、郵送費の増加等に伴い、希望者のみの配布に変更させていただきました。お手数をお掛けしますが、希望される方は上記問い合わせ先までご連絡ください。



年次報告書ダウンロードページ

[http://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/seisakushisaku/kankyo/kankyoseisaku\\_nenji.html](http://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/seisakushisaku/kankyo/kankyoseisaku_nenji.html)

**NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会**

問い合わせ：谷津弘子 (Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

ホームページ <http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

◎森林公園かんさつ会

①12月23日(日) 10:20-15:00 ごろ (考える会主催)

場所：南口休憩所 (南口駐車場内)

参加費：200円 (入園料別途)

持ち物：雨具、昼食 (園内レストランも利用可)

年内最後のかんさつ会、冬越しに訪れた野鳥を楽しみます。

②1月20日(日) 9:50-15:00 ごろ (公園と考える会共催)

集合：公園南口

参加費：無料 (入園料別途)

持ち物：雨具、昼食 (園内レストランも利用可)

講師は安西英明さん (日本野鳥の会主席研究員)。冬の雑木林でカモ類やルリビタキ、冬越しの昆虫などを観察します。



<http://blog.canpan.info/forest-musashi/>

**福原ファームクラブ**

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

(年間)

日時：12月8日・1月12日・2月9日 (土)

9:30-12:30 ごろ

場所：明見院 (今福677) 近く

内容：農作業 (B級品のお土産付き)

会費：保険代100円、クラブ員1家族1,000円

2018年度予定表

月	日	活動内容予定
12	8	大根・ブロッコリー畑の片付け
1	12	雑木林の手入れ 焼き芋
2	9	同上 豚汁、焼き芋
3	9	同上 あそぼうパン

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して河川を汚さない環境にやさしいお米作り、田園風景の保全や地域づくりの活動を行っています。入会は随時受け付けています。

◎「からだにベジプラスプロジェクト」で十文字学園女子大学と共催出店

日時：12月9日（日）10:00-14:00

場所：野火止ふるさと広場（新座市野火止 6-1-48、ふるさと新座館となり）

十文字学園女子大学との「からだにベジプラスプロジェクト～北海道復興支援&新座活性化～」で共催出店します。当会は足踏み脱穀機体験と、マコモの葉で縄ない体験ワークショップ、無農薬米、マコモ製品を頒布の予定です。



十文字学園女子大学：12月9日（日）に、ふるさと新座館で北海道復興支援&新座活性化のための「からだにベジ+（プラス）プロジェクト」が開催されます

◎理事会&定例会（拡大事務局会議）

理事会は2,4,6,12月、定例会（拡大事務局会議）は1,3,5,7,9,11月の各月で原則第4週の土曜日16:00から開催しています。定例会は、広く意見を求めるために会員、非会員どなたでも参加可能です。



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

こもれびの森・里山支援隊 <http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

◎里山林保全活動（初回参加可）

日時：①1月5日（土）、②2月3日（日）8:30 集合-16:00 片付終了

対象：本学専任教職員・学生、市民等（高校生以上）

場所：東洋大学川越キャンパス4号館前

実施場所：東洋大学構内「こもれびの森」（川越市鯨井2100）

作業内容：枯損木の伐倒、下刈り、つる切り、落枝拾い・ごみ拾い、伐採枝のチップ化など

定員：15名

費用：無料

持ち物：森林内の作業に適した身支度（詳しくはWebで）

申込：準備の都合上、開催日前週の週末までに [mlkomorebistf@toyo.jp](mailto:mlkomorebistf@toyo.jp) へ、参加を希望する行事

名とともに①名前②住所③電話番号④性別⑤生年月日⑥（学生のみ）学部・学科・学年をおしらせください。

\* Web サイト（組織概要・開催案内・開催報告）

<http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

\* Facebook ページ（最新の活動報告）

<https://www.facebook.com/komorebisatoyama>

\* Twitter（中止連絡などの緊急告知）

<https://twitter.com/toyokomorebi>



Web サイト



Facebook ページ



Twitter

2018年度予定表

月	日	活動内容予定
1	5	里山林保全活動
2	3	里山林保全活動
3	2	里山林保全活動

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃藏 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3金曜日

日時：12月21日（金）・1月8日（火）・18日（金）・2月5日（火）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：12月9日・1月13日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第4土曜日

日時：12月22日・1月26日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9:00より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田(Tel.090-2521-5770)へご連絡ください。

①12月24日（月・祝）9:00-11:00。12月は第4日曜日の23日が、かわごえ環境ネットの市内クリーン活動参加のため24日に順延。旭橋右岸集合。船着き場周辺を地元団体ときれいにする予定。合わせて上下流域クリーン活動。旭橋左岸の空き地で分別収集。解散。

②1月27日（日）9:00-11:00まで。赤間川公園集合、上下流の清掃。分別して、地元関係者の指定する場所に置いて解散。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

◎伊佐沼でバードウォッチング

（毎月第2日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや

持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物

参加費：一般300円、高校生以下100円（保険代・資料代）

①12月9日（日）10:00-12:00

カモのオスがお化粧してお相手を探しています。きれいな羽色を楽しみましょう。

②1月13日（日）10:00-12:00

毎年行うガン・カモカウントの日です。長年続けることで、環境の変化を知ることができます。あなたの参加をお待ちしております。

## 広報委員会からのお知らせ

### ●かわごえ環境ネット会員限定メールサービス

かわごえ環境ネット会員限定で、本紙並びに同封資料のメールでの送付（またはリンク）サービスを実施します。

希望の方は、かわごえ環境ネット事務局 (kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp) にメールで件名を「かわごえ環境ネット会員メールサービス希望」として、会員氏名（団体名称）と送付を希望するメールアドレス（添付ファイルの最大容量は5MB以上を推奨）をお知らせください。同時に会員になられる方は、入会申込を同

時をお願いいたします。



かわごえ環境ネット：入会案内



メールサービス受付（このQRコードを読み取ると宛先、件名、本文に記入項目が入ります。）

### ●本紙への原稿投稿を受けつけています

2019年1月号（No.147、12月26日ごろ発行）

予定)の掲載原稿は、12月15日(土)締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所本庁舎5階)に提出してください。

### ●かわごえ環境ネットソーシャルメディア

#### ①Twitter

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。



<https://twitter.com/kawagoekankyo>

#### ②Facebook ページ

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。アカウント登録を行って「いいね！」していただければ、登録されている主要なイベントが通知されたりして便利です。



<https://www.facebook.com/kawagoekankyonet>

### ●かわごえ環境ネット Web サイト

かわごえ環境ネットの Web サイトが 2018 年 10 月 31 日より HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) となりました。通信が暗号化されセキュリティが向上していますが、古いブラウザなどではご覧いただけなくなる場合があります。何卒ご了承ください。

ブラウザでは「kawagoekankyo.net」と入力いただければ自動的に「<https://kawagoekankyo.net/news>」に接続されます。HTTPS による接続は、URL の左側に鍵マークが付きます。



かわごえ環境ネット

ブログ スケジュール 会員 経歴検索 入会案内 問い合わせ 会費 広報 かわごえ環境フォーラム



WebサイトがHTTPS(Hypertext Transfer Protocol Secure)になりました

かわごえ環境ネットのWebサイトが2018年10月31日よりHTTPS化...

投稿日: 2018年10月31日 閲覧数: 10

2018年10月のレコメ (産経) 川越市西緑公園緑地整備 (二



<https://kawagoekankyo.net>

### ●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

## イベントカレンダー (12月9日~2月6日)

日	月	火	水	木	金	土
12/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00伊佐召でバードウォッチング ◎10:00 からだにベジプラスプロジェクト ◎北公民館(-1/23), かすみ草(-1/24)ウオームシェア	12/10 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地調査・保全活動	12/11	12/12	12/13	12/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	12/15 ○本紙1月号投稿期限
12/16	12/17 ○かわごえ環境活動報告集・協賛締切	12/18	12/19 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	12/20 ○歳末まち美化活動参加申込期限	12/21 ◎13:30 まち美化啓発運動	12/22 ◎13:30 まち美化啓発運動
12/23 天皇誕生日 ★9:30 歳末まち美化活動 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	12/24 振替休日 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29
12/30	12/31	1/1 元日	1/2	1/3	1/4	1/5 ◎8:30 里山林保全活動(こもれび隊)
1/6	1/7	1/8 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/9 ◆9:00 広報委員会	1/10	1/11 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	1/12 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
1/13 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00伊佐召でバードウォッチング	1/14 成人の日 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地調査・保全活動	1/15 ○本紙2月号投稿期限	1/16 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ★13:00 新年会	1/17	1/18 ◎13:30 まち美化啓発運動	1/19
1/20 ◎9:50 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	1/21	1/22	1/23	1/24	1/25	1/26 ◎13:30 まち美化啓発運動
1/27 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00,13:30 ジョイフル「武蔵野」上映	1/28 ★9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地調査・保全活動	1/29	1/30	1/31	2/1	2/2
2/3 ◎8:30 里山林保全活動(こもれび隊) ◎10:00,13:30 メルト「武蔵野」上映	2/4	2/5 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	2/6 ◆9:00 広報委員会	★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

## 月刊 かわごえ環境ネット 2018年12月号 No.146

発行日 2018年12月7日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax.049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net/>